

情報・プラット・フォーム

▼
特集

創業100周年、50周年 輝く企業の未来へ



- 新年のごあいさつ 1
- 補助事業のご案内 3
- 高知県地場産業大賞応募高校紹介 4
- 創業100周年、50周年 輝く企業の未来へ 5

- よろず支援拠点通信 11
- パソコンを快適に使おう 12
- 羽ばたく!高知のものづくり 13
- 工業技術センターだより 14

- 高知県の人材確保 最前線 15
- お〜い!会員さん 16
- INFORMATION 17



高知県知事
濱田 省司

新年のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。

公益財団法人高知県産業振興センターの会員の皆さまや県内企業・団体の皆さまにおかれましては、日ごろより、本県の商工業はもとより県行政の全般にわたり、ご支援、ご協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

私が知事に就任させていただいてから、はや3年がたちました。この間、県民の皆さまに寄り添い、共に歩む「共感と前進」を県政運営の基本姿勢として全力で努めてまいりました。

昨年の県経済は、個人消費の回復の動きから景気が緩やかに持ち直しつつある一方で、物価の高騰が私たちの暮らしに影響を与えた一年でした。そのうち、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と社会経済活動の両立を着実に進めるとともに、原油価格や物価の高騰対策に力を注いでまいりました。引き続き、保健医療提供体制や検査、診療体制の確保及びワクチン接種の推進に取り組みなど、感染拡大防止対策の充実と強化に努め、社会経済活動との両立をしっかりと進めてまいります。

また、本年も、新型コロナウイルス感染症に加え、物価の高騰による県経済への影響の長期化が見込まれます。新分野への事業展開や生産性を向上させるデジタル技術の導入の支援など、事業者の構造転換を図る施策を強化するとともに、適時必要な対策を機動的に講じてまいります。

加えて、社会や経済の情勢が変化する中、元氣な県づくりへの歩みを止めることなく対応していくため、新たな時代の成長の原動力であるデジタル化、グリーン化、グローバル化という3つの潮流を先取りする施策をさらに進化させ、県勢浮揚に向けて挑戦してまいります。

まず、デジタル化については、デジタル化に取り組む企業の「量的な拡大」とDXをも視野に入れた「質的な向上」の両方に取り組み、生産性の向上や付加価値の高い産業の創出を目指します。

次に、グリーン化については、脱炭素化に向けて取り組む企業の裾野拡大や新たな製品・技術の開発などへの支援を強化してまいります。

さらに、グローバル化については、海外展示会や商談会の出展支援に加えて、海外における現地の支援体制を強化し、海外市場へ挑戦する企業の裾野

拡大と外商の拡大に取り組んでまいります。

また、本年は、関西圏との経済連携を一層強化してまいります。特に、本県の食文化や観光などを強みにPRする情報発信拠点となるアンテナショップの設置へ向けた準備を加速させます。あわせて、プロモーションや外商活動の充実を図ることで、2025年大阪・関西万博の関連企業へのアプローチを強化し、経済活力に満ちている関西圏におけるさらなる外商の拡大を目指します。

本年は、徹底して成果にこだわりながら、第4期の産業振興計画や日本一の健康長寿県構想などの取り組みをしっかりと仕上げていくとともに、未来への弾みとなる節目の一年にしたいと考えています。県勢浮揚を目指して、県民の皆さまと共に豊かで元氣な高知県づくりに、一層邁進してまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆さまにとりまして素晴らしい一年となりますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

2023 NEW YEAR



公益財団法人 高知県産業振興センター
理事長
栗山 典久

新年のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。
2023年の年頭にあたり、謹んでお慶びを申し上げます。

平素より当センターの事業運営にご理解、ご協力をいただき心より御礼を申し上げます。

昨年2月に勃発したロシアによるウクライナ侵攻により、社会経済活動は大きな影響を受け、世界的な半導体不足やエネルギー価格の高騰、歴史的な円安進行等により、事業環境は先行き不透明な状況が継続しています。一方で、ウィズコロナも丸3年を迎えようとする中、徐々に経済活動は活発化しつつあり、ニューノーマル時代に向けた明るい兆しも見え始めています。

このような状況の中、当センターでは、高知県と連携して、原油・資材高騰等により深刻な影響を受けている製造業を対象に、省エネルギーの推進及び生産性の向上を図るための設備投資等について緊急補助金を創設したほか、事業再構築や新事業への転換等を支援する「新事業チャレンジ支援事業」を昨年度から継続して実

施するなど、県内企業の皆様の応援体制を整え実行してまいりました。

また、11月に開催した「第11回高知県ものづくり総合技術展」は国内外への認知度向上を図るため、「ものメッセ」というキャッチーな呼称とし、県内109事業者に出展いただき、3日間で2,000人の方にご来場いただくなど盛況のうちに終えることができました。今回は、高校生を中心とした約2,300人の児童生徒の皆様に来場いただくとともに、県内のものづくり企業の協力を得て、工場見学も同時に実施するなど、県内企業のことをより知っていただく新たな取り組みを行いました。

外商分野では、首都圏や関西圏等での主要見本市への出展や、当センター主催のミニ展示会、技術の外商のための商談会もコロナ禍以前と変わらない水準で実施することができました。特に2025年の大阪万博まであと2年と迫る中、県の関西戦略と連動して大阪の外商コーディネーターの体制を強化するなど、活発な営業活動に取り組んできました。また海外展開支援においても同様にタイやベトナム、インドネシアでの展示会出展や経済

ミッションが復活するとともに、本年は新たにパリでの展示会への出展を予定しています。

県内企業のデジタル化支援については、一昨年設置した「デジタル化推進部」の体制を強化し、企業毎の課題を抽出し、課題解決のためのデジタル化計画の策定並びに補助金を活用した実行支援を行い、生産性向上につなげていくよう取り組みを進めています。

その他にも幅広い支援メニューを取り揃え、センター職員一同、より一層のきめ細やかな支援を行ってまいりますので、ぜひ本年もご活用いただきますようお願い申し上げます。

2023年の干支は癸卯（みずのと・う）。「癸」と「卯」の組み合わせから、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になると言われています。

結びにあたり、県内企業をはじめとする皆様にとりまして、本年が飛躍の年となりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

2023 NEW YEAR

補助事業のご案内

	省エネ設備への投資を応援	新たな設備投資を応援	デジタル化を応援
補助金名	高知県原油高騰緊急対策 設備投資事業費補助金	高知県新事業チャレンジ 支援事業費補助金	デジタル技術 活用促進事業費補助金
補助金額	50万円～450万円	再構築枠 従業員50人以下:100万円～2,000万円 (賃上げ加算)100万円～2,500万円 従業員51人以上:100万円～3,000万円 (賃上げ加算)100万円～3,500万円 一般枠 50万円～1,500万円 (賃上げ加算)50万円～2,000万円	一般枠 50万円～450万円 デジタル化加速枠 100万円～1,000万円
補助率	1/2以内	再構築枠 中小:2/3以内 (賃上げ加算)3/4以内 中堅:1/2以内 (賃上げ加算)2/3以内 一般枠 1/2以内 (賃上げ加算)2/3以内	一般枠 1/2以内 (※1) デジタル化加速枠 2/3以内 (※1・2) ※1 IT 導入補助金 (通常枠) の上乗せ部分については1/4 ※2 ものづくり補助金 (デジタル枠) の上乗せ部分については1/12
補助対象者	原油価格・物価高騰等の影響により経済的な影響*を受けた製造業を営む県内中小企業者 ○原油価格・物価高騰等の影響によって売上高が5%以上又は付加価値額が7.5%以上減少 (令和4年1月以降の連続する12か月のうち、任意の3か月と原油高騰等以前の同3か月を比較)	新型コロナウイルス感染拡大や原油価格・物価高騰等の影響を受けた県内中小企業者等及び中堅企業(個人事業主含む)で以下のいずれかに該当する者 ○新型コロナウイルス感染症の影響によって売上高が10%以上又は付加価値額が15%以上減少 (令和2年4月以降の連続する6か月のうち、任意の3か月とコロナ以前の同3か月を比較) ○原油価格・物価高騰等の影響によって売上高が5%以上又は付加価値額が7.5%以上減少 (令和4年1月以降の連続する6か月のうち、任意の3か月と原油高騰等以前の同3か月を比較)	高知県内に本社又は主たる事業所を有する中小企業者等
要件	(1) 省エネ要件 補助事業実施前後における機械装置等のエネルギー使用量を10%以上削減できる計画を策定すること ※現在使用している機械装置等と本事業で導入を検討している機械装置等の比較を行った上で計画を策定すること (2) 生産性向上要件 補助事業終了後3年までの間に付加価値額が年率平均3%以上増加する計画を策定すること	再構築枠 (1) 「事業再構築」の定義に該当する事業であること (2) 事業計画を策定していること (3) 補助事業終了後3～5年で付加価値額(又は1人当たり付加価値額)を年率平均3%以上増加すること 一般枠 (1) 新たな取り組み(以下のいずれか)を行う事業であること ・新製品の開発又は新サービスの提供 ・新市場への進出 ・製品、サービスの製造方法又は提供方法の変更 (2) 事業計画を策定していること	一般枠 (1) 給与支給総額 1.0%/年増加 (2) 付加価値額 1.5%/年増加、もしくは労働生産性 1.5%/年増加 (3) 事業計画(事業戦略、経営計画)策定 (4) 継続的にデジタル化に取り組むための中期的な実行計画の策定 デジタル化加速枠 (1) 給与支給総額 1.0%/年増加 (2) 付加価値額 3.0%/年増加、もしくは労働生産性 3.0%/年増加 (3) 事業計画(事業戦略、経営計画)策定 (4) 継続的にデジタル化に取り組むための中期的な実行計画の策定(DX推進指標のレベル4相当の目標設定が必要)
補助対象経費	生産工程において使用する機械装置等 〔補助事業に必要な配管・配電等の工事費、設置搬入費を含む〕	新たな取り組みに必要な設備投資費とそれに伴う関連経費 〔土地の購入費、既存設備の撤去費用等、一部対象外経費あり〕	システム構築費・機械装置、クラウドサービス利用料、専門家経費、通信インフラ整備費、外注費、研修、消耗品費等 〔機械装置はデジタル化加速枠のみ〕
公募期間	令和5年1月24日(火) 17:00必着	令和5年2月16日(木) 17:00必着	令和5年2月16日(木) 17:00必着
詳細はこちら	https://joho-kochi.or.jp/sho-ene/ 省エネ等設備投資支援事務局 TEL:088-846-7087 Email:sho-ene@joho-kochi.or.jp 	https://joho-kochi.or.jp/new_challenge/index.php 新事業チャレンジ支援事業事務局 TEL:088-845-6620 Email:challenge@joho-kochi.or.jp 	https://joho-kochi.or.jp/digital/hojokin.php デジタル技術活用促進事業事務局 TEL:088-845-6601 Email:digital_info@joho-kochi.or.jp 

第37回高知県地場産業大賞

次世代賞（高校生）部門にご応募いただいた 高校生の皆さんをご紹介します！

高校生 部門

高知県地場産業大賞は、昭和59年に開催された「くろしお博覧会」余剰金から基金を造成し、その運用益を基に昭和61年から毎年、優秀な県内企業の製品や地場産業振興に貢献した活動を表彰しています。

次世代賞は、高校生を対象に地域の活性化などに貢献のあった活動を顕彰する賞として平成22年に25周年記念として創設され、以後第36回までに63件の応募があり、27件を顕彰しています。

11月号の一般部門に引き続き、今月号では12月9日まで募集を行った「高校生部門」にご応募いただいた7校8件をご紹介します。

高校生たちが取り組む地域の課題解決や産業の活性化への取り組みをぜひご覧ください。

高校生部門の今後のスケジュール



各応募高校の詳細はFacebook、Instagramでチェック! ↑

※令和4年12月末時点での情報を掲載しています

高知市立高知商業高等学校

高知市

持続可能な社会の実現 ～ジビエ部5年目の挑戦～



ジビエ利用と森林保護が一過性のブームとならないよう、ジビエの抵抗感を軽減した商品を開発・販売し、外商活動を展開することで消費拡大と活動継続を目指す取り組みです。

高知県立山田高等学校

香美市

高校生による地域の魅力を発信する活動 Kami愛部×地域



高校生が地域のイベントを企画・運営し、地元食材を生かしたレシピ開発などを行いながら、これらの活動をYouTubeで公開・PRすることで地域の魅力を発信する取り組みです。

高知県立春野高等学校

高知市

なすプロ 生活クリエイト系列 商品開発班 「春高印のトマト食品」



春野高校3年生が県内企業からの呼びかけに賛同し、社会福祉法人とのコラボによる「トマト食パン・テーブルパン・シフォンケーキの開発」を行う取り組みです。

高知県立安芸桜ヶ丘高等学校・ 高知県立安芸高等学校

安芸市

「浜 zone prime」実行委員会による 『かがりビーチ』の実践



安芸海岸の砂浜を活かして地域を活性化するため、高校生がボランティア団体「浜 zone prime」実行委員会を立ち上げ、かがり火のイベントを地域一体で実施する取り組みです。

高知県立安芸桜ヶ丘高等学校

安芸市

CONNECT 桜市 ～販売から始まる地域貢献～



開校時から続いている伝統の桜市は、これまで安芸市内で販売を行ってききましたが、今年度は「発信」をテーマに、高知市内での販売実習を行っています。東部地域の企業の販路拡大に貢献する取り組みです。

高知県立伊野商業高等学校

いの町

観光列車の列車内外でおもてなし、 オリジナルリーフレットの作成



列車内で観光ガイドや土佐弁講座を行いながら、手作り土佐和紙ティッシュケースを作成し、いの町の伝統技法を用いたティッシュとメッセージカードをプレゼントするとともに、手作りオリジナルリーフレットを配布するおもてなしの活動です。

高知県立幡多農業高等学校

四万十市

とびだすマルシェ ～コロナ禍でもやれることはきっとあるはず!～



コロナ禍で活動が制限される中、地域の方の激励や要望に応えるため、商品の見直しや技術向上を行い、四万十ぶしゅかんを使用したお菓子を校外で販売することで地域をPRする取り組みです。

高知県立幡多農業高等学校

四万十市

幡多っこ食育プロジェクト ～食で育む地元愛～



幼稚園での出前授業や地元の子ども食堂に自分たちの育てた野菜を提供するなどの活動が実り、市から学校給食採用の依頼をいただき、給食センターと連携しながら、高校生による食育活動を行う取り組みです。

100周年、50周年

輝き続ける企業の未来へ

今月号では、高度経済成長期からバブル崩壊やリーマンショック、近年の新型コロナウイルスなどの様々な局面に立ち向かい、昭和、平成、そして令和へと、時代を超えて志を受け継ぎ、発展し続けてきた県内企業3社をご紹介します。



株式会社泉井鐵工所

▲(左)北村社長 (右)泉井会長

100周年を迎えられた今のお気持ちをお聞かせください。

当社は本年5月に創業100周年を迎えます。決して平たんな道のみではありませんでしたが、お客様に当社の製品を使っていただくなかでの課題や改良点についてアドバイスをいただき、それに対して、真摯に向き合うことで、社員一人一人、そして企業として、また、製品も成長できたと考えております。これから「ユーザーの立場に立つモノづくり」をモットーに技術の向上に取り組んでまいります。

100年を振り返って、印象深いエピソードなどがあれば教えてください。

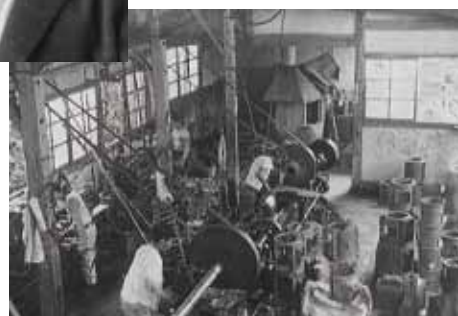
当社の歴史を振り返るうえで、最も象徴的なことは、ラインホーラーを開発した創業者泉井安吉と、その開発から拡販まで新しい時代を支えた安吉の弟である泉井守一が存在です。ラインホーラーを開発した創業者の安吉は、マグロ延縄漁船に乗り、操業していた際に、海に投げ出され、命を失いかけた体験をしました。このことがきっかけで「安全に操業できる延縄捲揚機を作りたい」と決意し、船を降りて神戸で働きながら機械設計を学び、1923年に鐵工所を創業しました。

しかしながら、創業当初、開発したラインホーラーを試してもらえない船が無く、販売に大変苦労しました。そこで安吉は、ラインホーラーの実用化のために自分で船を持つと

▼ 工場内(昭和14年頃)



▲ 創業者



と思い立ちました。その時に、守一が自分の結婚資金として貯めていた資金を安吉に借しげもなく提供したことで、船を購入でき、ラインホーラーのフィールドテストを行うことができ、お客様に徐々に認知されるようになり、販売につながりました。

これまでにならなかった困難がありましたか？それらの困難をどのように乗り越えてきたのですか？

華やかな出来事は少なく、国際的な海域の問題やオイルショックなど、政治的また経済的な出来事に起因する困難の連続で、昭和にも減船があり、平成にも再び減船の波が襲ってきました。

ピーク時に1500隻ほどあった主力の遠洋マグロ延縄漁船が現在は150隻ほどに減少するなど、地元室戸でも倒産・廃業が相次ぎ、当社の業績を直撃しました。

こうしたなか、2013年に川崎重工業株式会社から、長年にわたる取引関係と甲板機



▲ ラインホーラー・プラン・浮縄揚機



▲ ウィンドラス

「企業として発展し続けるために、大切にすべきことは何だとお考えですか？」

械の製作実績が認められ、漁撈ウインチ（船用ウインチ）に関する事業の譲渡を受けたことが、マグロ船のラインホーラーから、その技術を生かしたウインチを主体とする生産体制のシフトという当社の経営方針の大幅な転換のきっかけとなりました。

その後は、漁船以外にも、港湾等で浚渫工事を行う作業船向けウインチ等の設計、製造、そして修繕等の新分野の販路開拓にも取り組んでいます。

昭和30年頃から平成にかけて当社を支えてくれたOBの方と一緒に当時は振り返ると、色々な困難に直面しても、お客様の声をよく聞き、社員同士でアイデアを出し合い、それを新製品の開発や製品の改良につなげていくことで乗り越えてきたことがよく分かります。これからも、この姿勢を変えたいと思っています。難や課題を解決していきたいと思っています。

data



▲ 本社工場



▲ 香南工場

株式会社泉井鐵工所

マグロ延縄船用漁撈機械・漁撈用各種ウインチ・作業船用スパッドウインチ等の各種漁撈機械・各種ウインチの製作を行っています。



【代表取締役社長 北村 和之】

- 室戸市浮津18番地
- TEL:0887-23-2111
- FAX:0887-23-2114
- URL:<http://www.izutekkou.co.jp/>

「今後に向けた社長の抱負を教えてください。」

私は2001年に泉井鐵工所に入社し、昨年（2022年）2月に代表取締役社長に就任いたしました。100周年という節目の年を迎えるにあたり、不安定な社会経済情勢の中、我々製造業を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。特に技術の継承、人材確保という面の課題も深刻化しています。そうした中で本年は、「人材育成」「品質向上」「デジタル化推進」という重点課題に向けて、柔軟な発想で時代に適応しながら取り組んでまいります。

企業は人に支えられており、人と対話することで関係を構築し、継続することが大切であると考えます。昨今のデジタル化時代にしては少しアナログに聞こえるかもしれませんが、「お客様との対話」、「従業員との対話」、「家族との対話」を重視し、可能な限り、相手の顔を見て話すことを大切にしていきたいと考えています。



▲ 社員の皆さん

株式会社キョトウ

▲ 清藤社長

―― 50周年を迎えられた今のお気持ちをお聞かせください。

1973年12月に「清藤鉄工所」として創業し、県内企業の皆様にお世話になりながら、少しずつ仕事をいただき50周年を迎えることができました。創業当時は、1人でできることも限られていたもので、多くの方々に助けってもらいながら受けられる仕事を増やしていききました。また、県内企業同士での競争を避けるため、県外からの受注獲得に向けて、産業振興センターの方にもお世話になりました。

―― 50年を振り返って、印象深いエピソードなどがあれば教えてください。

県外からの受注を獲得するために、車でよく出張していました。当時は、高速道路が整備されていなかったもので、何時間もかけて県外に出張しました。納品にもトラックで行っており、高速道路がない不便さもありましたが、車の運転が好きだったので大変だと感じたことはありませんでした。また、部品や製品の製造をする際には、旋盤で加工するだけでなく、溶接や組み立ても行いなど、付加価値をつけたものを提供できるように考えてきました。

―― これまでにどういった困難がありましたか？それらの困難をどのように乗り越えてきたのですか？

とにかく前進することばかり考え、気が付いた

▼ 受注獲得に向けた営業活動



▲ 県外の展示会出展



ら50周年を迎えていました。創業後は子どもも生まれ、家族のために頑張ろうという思いも強くなり、粘り強く続けることができました。また、取引先や周りの方々に助けられて続けることができたので、築いた人脈を大切にすることを心がけてきました。一人ではできないことも人の力を借りることで乗り越えてきました。

創業当時から、仕事にも人材にも恵まれていたように思います。会社としてできる仕事が増えていくにつれ、当初作業していた工場では手狭になり、工場の移転をすることになりました。現在本社工場がある地を決定するまでには、紆余曲折もありましたが、周囲の皆様のご協力を得て無事建設することができ、今にいたっています。

バブルが崩壊した当初は、工場移転に尽力していたこともあり、その影響についてはあまり考慮していませんでしたが、やはり逃れること



▲ 主力製品

「企業として発展し続けるために、大切にすべきこととは何だとお考えですか？」

はできず、徐々に減っていく仕事を挽回するためにとにかく営業活動に力を入れました。新型コロナウイルス感染症が流行した際には、バブル崩壊、リーマンショックの教訓を活かし、仕事が減ることを見越して、社内の方針をいち早く切り替えて取り組むことにしました。具体的には、これまであまり積極的ではなかった自治体からの受注獲得に注力することにした。公共工事が出る廃棄物をリサイクルする機械等を供給することができれば、比較的安定した受注が見込めるためです。こうした機械の受注は、部品加工から組み立てまで、一貫した生産体制で取り組むことができ、メンテナンスも見込むことができるので、販売後の仕事にもつなげることができます。これまで培った製造や組み立てなどの技術、製造機械や人材がいるからこそ、社内の方針をシフトするという決断ができました。

data



▲ 本社工場



▲ 香南工場

株式会社キョトウ

主要マシン50台を超える豊富な設備で、工作機械部品・印刷機械部品・リサイクル廃棄物処理機械部品、一般産業機械部品まで幅広く対応しています。



【代表取締役社長 清藤 秀夫】

- 香南市香我美町山北123番地4
- TEL:0887-54-2191
- FAX:0887-55-5621
- URL:<http://www.kiyoto-web.co.jp/gai.html>

「今後に向けた社長の抱負を教えてください。」

他社では断られたような難易度の高い加工でもあきらめず、どうすればできるようになるかを考え、要望に応えていくことです。これまでもそういった姿勢で取り組み、様々な人とのつながりを広げてきました。人と人とのつながりを大切にすることが、仕事にもつながっていくと実感しています。

100周年を目指すにあたっては、人材の確保が重要な課題となっています。今後も事業を拡大させていきたいと考えていますが、人手不足で実現できていないというのが現状です。高知県全体の課題にもなっていると思いますが、発展していくためには、やはり人材を確保することが第一となっています。弊社だけでなく、高知県全体が発展していくよう、取り組んでいきたいと考えています。



▲ 本社前



四国スッピル工業有限会社

▲ (左)小比賀社長 (右)小比賀会長

— 50周年を迎えられた今のお気持ちをお聞かせください。

やるしかないという気持ちで努力してきた日々の積み重ねが今に至るように思います。こうして50周年を迎えられたのは、得意先や仕入先をはじめとする関係先の皆さまの温かいご厚情とご支援の賜物と深く感謝しています。

— 50年を振り返って、印象深いエピソードなどがあれば教えてください。

元々香川県で「スッピル※」という商品のメーカーとして西日本地域で事業を展開していましたが、1960年代後半からスッピルを使わない設計に変化したことや農機具業界の縮小等により、事業の先行きが危ぶまれてきました。

そこで当時、高知県のメーカーにお世話になっていた経緯で高知県に移転し、油圧関連部品の下請けメーカーとして、1973年に「四国スッピル工業」を新たにスタートさせました。社名変更の時期もありましたが、古くから「スッピルさん」とお声がけいただいていたので、現在製造はしていませんが、社名に「スッピル」を残したままにしてあります。

※「スッピル」は、スッピルキー、平行キー、マシキーなどと呼ばれ、工作機械、自動車、食品機械など様々な機械において、シャフトの回転をギアに効率よく伝えるために使用されます。

— これまでにどういった困難がありましたか？それらの困難をどのように乗り越えてきたのですか？

創業者が、NC工作機械を最初に購入した時は、自分でプログラムを作る技量がなかったため、メーカーの担当者がセットしてくれた1つのプログラムだけで作業をしていました。その当時、香川のメーカーに勤めていて工作機械の知見のあった現会長は「そんな機械を買ってどうするの？誰が動かすの？」と思います、自分自身で機械を動かす必要があると強く感じ、27歳の時に入社しました。

この頃から機械の活用も進み始め、仕事も順調に増えていき、機械設備も増設することで事業の拡大につながっていききました。しかし、その後、段々とコストダウンに迫られるようになり、省力化に取り組まないといけない局面に陥りました。夜間にも作業が進むように新たに設備を導入しましたが、その機械



▲ 創業者

▼ 創業当時の機械





▲ 主力製品



▲ スッピル女子

— 企業として発展し続けるために、大切にすべきことは何だとお考えですか？

長きにわたって商売を続けてこられたのは、周りの方々に恵まれてきたからだと思う。これまでのこれからも、一番大切なのは「人」です。特に社員の力は大きいと考えており、社員が自由に働きやすいようにと心がけています。例えば、女性社員から

は、当時まだ機能が十分に備わっていなかったため、材料の載せ替え作業を就寝前の時間帯に行う必要がありました。オン、オフがない状態であったため、こんなことをやっていいいけないと思った会長は、こうした経験をもとに、機械でできるものは機械に仕事をさせて、自分自身も社員もオフの時は完全にオフになるように仕組みづくりを行いました。このように、高品質・高精度なモノづくりとコストダウンに向けて挑戦した結果、困難も乗り越えてこれたように思います。

— 今後に向けた社長の抱負を教えてください。

私は2021年の6月に代表取締役社長に就任いたしました。コロナなど激動する時代の変化に、その都度対応しないといけないと考えています。これから先も色々なことがあると思いますが、これまで先代、会長が培ってきた50年の礎を生かして、お客様に信頼される良き製品を提供し、常に「モノづくり」に対して知恵を出し、快適な環境づくりを目指して取り組んでまいります。

「設備の色が気に入らない、統一感がない」という声があった時には、3台あった大型の設備を会長自らすべて白色に塗り換えました。また、「工具や部材が重い」と別の社員から言われた時には、キャスター付の荷台を会長自ら手作りしました。今も別の物を頼まれています。このように「人」、特に社員との関係を大切にしています。

data



▲ 本社工場



▲ 双葉台工場

四国スッピル工業有限会社

主に工作機械用精密部品や建設機械用精密油圧部品を取り扱い、NC旋盤加工品にプラスした複合加工の製造を行っています。



↑↑↑
リクルート動画
「スッピル女子に聞く」



↑↑↑
会社HP

【代表取締役社長 小比賀 俊文】

- 南国市下末松71-4
- TEL:088-863-2675
- FAX:088-863-0754
- URL:<https://www.shikoku-supple.co.jp/>



▲ 社員の皆さん



経営上のお悩み、相談しませんか？

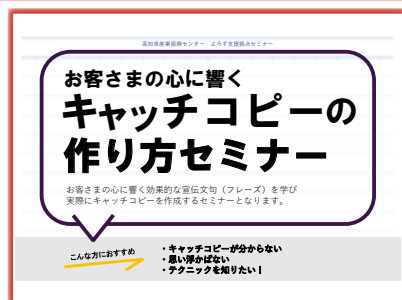
「よろず支援拠点」は、国が平成26年度から全国に設置している無料の経営相談所です。中小企業の皆様の売上拡大や経営改善等、経営上のあらゆるお悩みに対応します。

少人数セミナーで課題解決！

高知県よろず支援拠点では、拠点に所属するコーディネーターが講師となり、定員5名というコミュニケーションが取りやすい環境で、わかりやすく・すぐに役立つ「少人数セミナー」を定期的に開催しています。

セミナー参加後も、それぞれのレベルや進捗に合わせて個別相談でフォローアップを継続します。よろず支援拠点の特徴は“**できるだけ何度でも無料で相談できる**”です！

今後予定しているセミナー

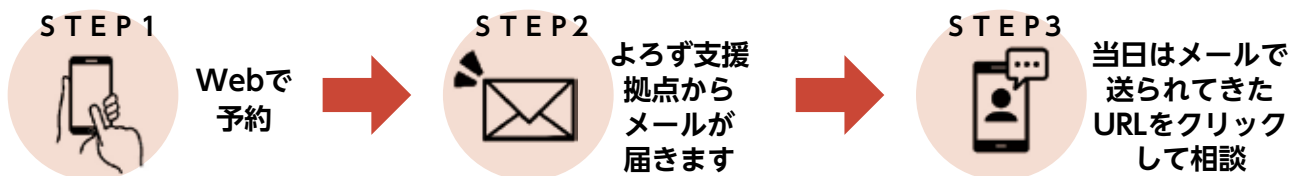


※最新の情報はHPからご確認ください

Web相談ははじめませんか？

高知県は東西に広いため相談所までの距離が遠く、悩みを抱えていても直接相談所に足を運ぶことが難しいかもしれません。そんなお悩みを解決するために、高知県よろず支援拠点ではWeb相談を推奨しています！相談のデジタル化にも挑戦してみませんか？

Web相談の流れ



●新コーディネーターの紹介

12月より新たにIT分野のコーディネーターが加わりました。



石井 みなみ

勤務日：毎週木曜日

会社員としてIT領域の仕事に20年間従事してきました。画面にならんだ数字やプログラムを見てあれこれ考えることが好きです。また高知出身者なので海・山・川で体を動かすことも大好きです。現在は高知/東京の二拠点で暮らしており、高知で育まれた事業が日本中に広がっていくお役に立ちたいです。

【お問い合わせ・ご相談予約】 (公財)高知県産業振興センター内 高知県よろず支援拠点

□ 〒781-5101 高知市布師田3992番地2 高知県中小企業会館5階

□ Email : yorozu@joho-kochi.or.jp

□ TEL : 088-846-0175 □ 対応時間 8:30~17:15 (土日祝日を除く平日)

＼HPが新しくなりました！／

高知県よろず

検索



パソコンを 快適に使う



パソコンを購入するときの参考に!

買い替えを
ご検討の方!

「会社のパソコンを購入して5年経ったので、壊れる前に買い替えておきたい!」
「パソコンの動作が遅い! そろそろ替え時かな…」

新しいパソコンに買い替えたいと思った時、どれを選べばいいか分からずにお困りではありませんか?

今回は、当センターの賛助会員サービス「IT110番」の中でも相談が多い「Windowsパソコンの仕様」についての最新情報をお届けしますので、パソコンを購入するときの参考にしてみてください。

買い替え時の
ポイント1

OS 主流はWindows11!

パソコンを操作するための土台となるのが基本ソフトウェア「OS」です。

OSの代表的な「Windows」は、Windows10からWindows11に移行しつつあります。

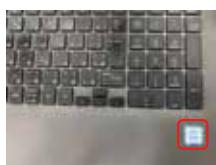
Windows10のサポートは、令和6年10月に終了予定です。

Windows11搭載パソコンに買い替える際には、ご利用のソフトウェアがWindows11に対応しているかを確認する必要があります。

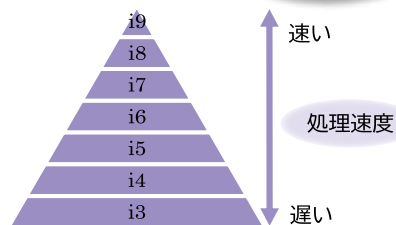
CPU 「Core-iXX (i3~i9)」と「世代」を確認!

買い替え時の
ポイント2

CPUの一般的な表示である「Core-iXX (i3~i9)」と、発売された時期ごとの型番などの総称である「世代」を確認してください。



(CPU)
(8世代)



同じCPUでも世代があるので、注意が必要です(最新は13世代)。世代が異なると性能も大きく変わってきます。

世代については、[パソコン 世代確認](#) [Q検索](#) すると確認できます。

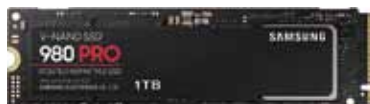
例えば

表記例	世代
Core i7 13700	13世代
Core i7 8700	8世代

買い替え時の
ポイント3

ストレージ(記憶媒体の総称) SSDとHDD型の特徴を確認!

パソコンには、データを保管するための内部ストレージが搭載されており、大きくはSSD(ソリッドステートドライブ)とHDD(ハードディスクドライブ)に分けられます。従来のHDDに代わる記憶媒体として急速に利用が拡大しているのがSSDです。ここでは、SSDの代表格である2種類を紹介します。



SSD「PCI Express」
速度:12GB/s 以上



SSD「HDD型」
速度:6GB/s以上

それぞれにメリット、デメリットがありますので、インターネット等でその特徴を確認し、使用目的に応じて選ぶようにしてください。

メモリ(短期的なデータ保管場所) 容量(GB数)を確認!

一般的には最低「8GB」、できれば「16GB」がおすすめです。解像度の高い動画の編集などを行う方は、メモリのデータ容量を必要とするものが多いので、容量が大きければ大きいほどパソコンの動作が快適になります。

使用目的に応じて選ぶようにしてください。

以上が「Windowsパソコンの仕様」に関する最新情報です。

パソコンを選ぶ際の項目はいくつもありますが、どの「CPU・ストレージ・メモリ」を選ぶかは最も重要なところ。動作速度やデータ保存容量が変わってきますので、使用目的に応じてご確認ください。

IT110番では、賛助会員の皆様のパソコンや周辺機器、ネットワーク等に関する相談をお受けしています。「パソコンやネットワークの調子が悪いけど、社内に詳しい人がいない」など、お困りごとがある方は、ぜひお気軽にご相談ください。

IT110番(原則木曜日)
TEL:088-845-6600
メール:
info@joho-kochi.or.jp

「品川区ものづくり・IT商談会」に参加しました

東京営業本部 東京駐在 外商コーディネーター 大澤 元貴

東京の南部に位置する品川区は古くから交通の要衝として発展してきましたが、現在は数多くの企業が本社や工場を構える商工業地域としても栄えています。また、江戸時代には土佐藩の下屋敷が品川宿にあったことや、若き頃の坂本龍馬が武術の鍛錬の傍ら下屋敷の警護を担当したなど、高知県とも所縁のある地域となっています。

そうしたことから、品川区と高知県は絆を深め、互いの強みを活かし共に繁栄することを目的として「明治150年」にあたる平成30年に連携協定を締結しました。

近年は新型コロナの感染拡大により商談会の開催を中断しましたが、それまでは毎年3月に行われる品川区防災フェアに私ども東京営業本部は高知県ブースを出展し、区民や関係の方々へ防災製品の紹介等の活動を行っていました。

また昨年は、品川区の商業・ものづくり課との情報交換の一環で、同区がさいたま市や目黒区、板橋区、江戸川区、荒川区、足立区と合同で開催した企業マッチング会「品川区ものづくり・IT商談会」を見学させていただきました。受注側、発注側、それぞれ多くの企業が活発な商談を行う様子を見て、高知県としての参加を希望したところ快諾をいただきました。



その結果、今年11月21日(月)に開催された商談会には高知から①株式会社キョトウ②高知旭光精工株式会社③有限会社繁春鉄工所④濱村鉄工有限会社の4社が参加されました。商談会の冒頭に品川区の担当者の方から発注企業に対し「今年は高知県の受注企業も参加しております」とご紹介いただき商談がスタート。主に金属加工の委託先を探す近郊の企業等との間で延べ17件の商談が行われました。一つ一つの商談は20分と非常に限られた時間の中で、早々と見積依頼の図面を受け取る約束や、秘密保持契約の締結を前提にして、より踏み込んだ形で次の商談を約束する等、収穫の多い商談会となりました。いずれの商談もまだ入口の段階ですが、東京営業本部としても各企業と連携しながら、受注の獲得につながるようにフォローをしていきます。

今後も連携協定が実質的な成果へと結びつくように品川区と共に取り組みを行っていきます。



【お問い合わせ】(公財)高知県産業振興センター 東京営業本部

東京事務所 □〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-3-3 内幸町ダイビル8F

□TEL: 03-6452-8830 □FAX: 03-6452-8831

大阪事務所 □TEL: 06-6244-7934

名古屋事務所 □TEL: 052-684-4904

東京営業本部

facebook

こちら→



新しい試験機器を導入しました（資源環境課）

今回、導入した多軸混練攪拌システムは、低炭素社会の構築を目指し、石油由来プラスチックの使用量を低減することを目的に、再生可能な資源を利用した付加価値の高い材料の研究開発を行うために利用していきます。特に、木質材料-プラスチック複合材料に代表される低環境負荷素材や新規機能性を有する材料の開発に際して、均一な混合、安定的な生産技術の確立に向けて活用します。

<多軸混練攪拌システムの仕様>

混練能力：2軸、最大トルク300N・m、設定温度～350℃

シリンダ：(材質)SACM645、ベントポート(1カ所)

スクリュー：(形状)多条フライト逆リード形(L/D=25)

(材質)SCM435、硬質クロムメッキ

ダイヤ：ストランドダイ(Φ3×3本取り)

付帯設備：コールドカットペレタイザー

※本装置は、混練条件をモニタリングすることが可能で、1kg/minの少量試作が行えます。



多軸混練攪拌システム(株式会社東洋精機製作所)

これらの他にも、保有する加工機器、分析機器が工業技術センターホームページに掲載されております。気になる機器がありましたら、どうぞお気軽に資源環境課へお問い合わせください。

■ 資源環境課の試験設備機器紹介ページURL：https://www.pref.kochi.lg.jp/itc/item_list/item_section3/

「グリーン化技術とLCA基礎講座」<第7回> <第8回> ご案内

プラスチック代替素材活用研究会(工業技術センターWG)「グリーン化技術とLCA基礎講座」の受講者募集のご案内です。

高知県工業技術センターでは「カーボンニュートラル」「LCA(ライフサイクルアセスメント)」をキーワードとしたグリーン化に関する基礎講座を開催します。環境負荷低減技術による製品開発や環境評価に取り組む県内企業に向けた技術セミナーです。オンライン配信と対面のハイブリッド開催で行い、参加費用は無料です。

■ 詳細及び受講申込書は、下記URL(または右記QRコード)の案内チラシをご覧ください。
<https://www.pref.kochi.lg.jp/itc/news/2022102000106/>



※<第1回>～<第6回>は終了しました。

<第7回>1月19日 14:00～16:00 高知県工業技術センター 2F 第1研修室

地球と同化する未来材料：ビジョナリープラスチック

高知大学発、抗菌・抗ウイルス性と環境適合性(微生物同化)の両立を可能にする画期的な新素材
【高知大学教育研究部総合科学系生命環境医学部門 芦内誠 教授】

<第8回>1月26日 14:00～16:00 高知県工業技術センター 2F 第1研修室

循環型社会実現に向けた「バイオコークス」開発

再生可能エネルギー社会の礎となる新しい固体バイオエネルギー
【近畿大学バイオコークス研究所所長 井田民男 教授】





ヒトが育てば、企業が育つ！

高知県の人材確保 最前線

就職・転職フェア2022冬in東京を開催しました

11月23日(水・祝)、東京交通会館において『高知就職・転職フェア2022冬in東京』を開催しました。当日は、あいにくの雨と今期一番の冷え込みであったにもかかわらず、県出身の大学生4名を含む、計50名以上の「高知で働きたい方」にご参加いただきました。

参加者の内訳は、Uターン希望者とIターン希望者(配偶者のUターンを含む)が半々程度。県出身者であっても地元企業については「ほとんど知らない」方が多く、全参加者の6割以上の方がキャリアコンサルタントとの相談ブースに立ち寄って「自分のキャリアやスキルを活かせる企業は?」「自分の希望に合う働き方ができる企業は?」等の相談をしていただきました。

就職・転職フェア2022冬【東京】業種別出展企業33社

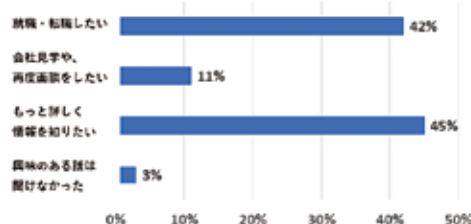


高知の企業と出会い、知るチャンス

その結果、一人当たり2社～3社程度の企業ブースを訪問し、帰りに「紹介していただいた企業に応募することになりました」と報告してくださる方もいらっしゃいました。

また、参加者アンケートを見ても、ブース訪問をした企業について「就職・転職したい」が42%、「会社見学や再度面接したい」が11%と、より積極的な行動に移ろうとする方が目立ったほか、「もっと詳しい情報を知りたい」も45%あり、フェアを通じて高知の企業への就職意欲が高まった方が多くいらっしゃいました。

ブース訪問をした企業について

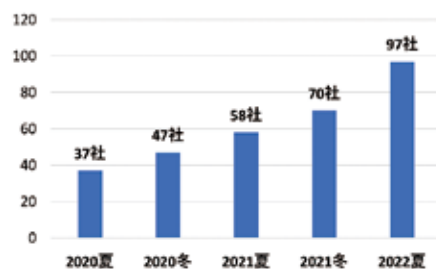


オンラインでも就職・転職フェア

一方で、実はコロナ禍以降、東京、大阪の会場でリアル開催する就職・転職フェアの参加者は減少傾向にあります。引き続き、本県で働くことの魅力を訴求していくとともに、コロナ禍を機に定着しつつあるオンラインを使った就職・転職活動への対応も必要だと考えています。

そこで、当センターでは一昨年から、夏・冬の年2回、WEB上で企業と人材が出会える、オンライン就職・転職フェアも開催。時間も費用も節約できると人気は高まり、出展企業は回を追うごと増加しています。特長としては、リアル開催と同様、企業側から参加者に声をかけられるスカウト制度があることや、参加者に当センタースタッフが事前にヒアリングをして、希望条件やコアスキルに合いそうな求人や企業を提案することです。2022冬のオンラインフェアは、100社にご出展をいただき、1月4日～2月末まで開催中です。

出展企業社数



【お問い合わせ】(一社)高知県移住促進・人材確保センター

□〒780-0870 高知市本町4丁目1番32号 こうち勤労センター5階

□TEL:088-855-7748

□開所時間:月～金 8:30～17:15(祝日・年末年始を除く)



高知で働きたい人と高知の企業の橋渡し
高知求人ネット
Kochi Kyujin net



お～い会員さん

賛助会員の皆様をご紹介します！

金星製紙株式会社



会社案内 弊社は今年で創業105年。日本で最初に国産の設備を用いて不織布の生産を開始した企業です。

伝統のチャレンジ精神で様々な製造ラインや加工設備を駆使し、スピーディかつ顧客の要望に沿った細やかな製品開発を社員一丸となって行っています。

マスクや水切りゴミ袋等の家庭用品から医療介護の現場でご活用いただけるマルチパワーシートまで、社会ニーズにあった製品開発に今後も努めてまいります。

- 代表者：代表取締役社長
竹之内 渉
- 所在地：高知市井口町63番地
- TEL：088-822-8105



サンガリア商事株式会社



会社案内 弊社は1971年に「サンガリア」商品を主に扱う飲料卸売業として創業。現在は県内に約800台ある弊社オリジナル自販機「スマイルベンダー」による飲料小売業を主体としております。

「スマイルベンダー」は福利厚生用として法人さまにも多数ご採用いただいております。また、寄付型自販機の推奨や、最新の自販機本体の販売提案により、今後も「飲料と自販機で高知に貢献」してまいります。

- 代表者：代表取締役社長
片岡 理
- 所在地：高知市一宮東町5丁目10番6号
- TEL：088-855-7028



株式会社三共住宅サービス



会社案内 弊社は昭和54年に設立し、長年高知市を中心に活動する地域密着型の白蟻防除工事会社です。

白蟻駆除、白蟻予防工事、白蟻点検、床下の湿気改善工事（調湿材工事）等を行っています。経験豊富なスタッフが高い技術力で施工しております。

白蟻防除責任施工をモットーに、お客様に安心して施工を任せいただける会社を目指し、社員も会社も日々向上に努めております。

- 代表者：代表取締役
川端 正樹
- 所在地：高知市南久保4番38号
- TEL：088-882-0222



三洋工業株式会社



会社案内 株式会社SKKのグループ会社として、主に港湾工事で使われる海上クレーンの部品を製作しています。常に高い品質の製品を提供すべく、技能検定などの資格試験やコンクールへのチャレンジなど、社員の技術能力の向上にも力を入れております。

創業より50余年にわたり培ってきた、「品質と技術」で、これからも「お客様第一の経営」を実践するとともに、お客様のニーズにお応えしていきます。

- 代表者：代表取締役
島内 宏
- 所在地：高知市春野町西諸木1154-5
- TEL：088-842-3125

催し物名		主 催 者	場 所	会 期	営 業 時 間	催し物 大ホール
絵画展示販売会		アールビバン株式会社	ぢばさんセンター 大ホール	1月27日(金)～ 1月30日(月)	1月27日(金) 14:00～18:00 1月30日(月) 11:00～18:00	
区 分	受付期間	名 称		内 容		公募 予定 表
補 助 金	12月21日(水)～ 1月24日(火)	原油高騰緊急対策設備投資支援事業費補助金 2次募集		原油価格高騰に対する緊急的な支援として、県内に事業所を有する製造業を営む県内中小企業者が行う、省エネ及び生産性の向上を図るための設備投資への費用の一部を補助します。		
補 助 金	1月10日(火)～ 2月16日(木)	デジタル技術活用促進事業費補助金 1次募集		電力・ガス・食料品等の価格高騰によって実質的な賃金が減少している中、給与等の増額を行う中小企業者等のデジタル技術への投資を通じた生産性を向上させる取り組みに係る費用の一部を補助します。		
補 助 金	1月10日(火)～ 2月16日(木)	新事業チャレンジ支援事業費補助金 3次募集		新型コロナウイルス感染拡大および原油・物価高騰の影響を受けた県内事業者が、設備投資を伴う新たな取り組みにチャレンジする費用の一部を補助します。		
区 分	日 時	名 称		場 所		行事 予定 表
セミナー	1月17日(火) 13:30～14:30	Instagram アクセス数を増やす投稿作成		ぢばさんセンター1階 商談室2		
セミナー	2月21日(火) 13:30～14:30	Instagram いいね分析		ぢばさんセンター1階 商談室2		
セミナー	3月20日(月) 13:30～14:30	Instagram 投稿スケジュール管理		ぢばさんセンター1階 商談室2		
【お問い合わせ】 高知県産業振興センター 088-845-6600						セミナーなどは事前に申し込みが必要です。受付方法やその他の詳細については、お問い合わせください。

高知ちばさんセンター貸し出し

会社内での研修や各種イベントに
高知ちばさんセンターを使ってみませんか？

商談室、会議室、研修室、多目的ホールは8～130人まで
対応できます。各種割引サービスも充実！

**大ホール
県内企業応援割引・単年度複数回割引等**

**商談室・会議室・研修室・多目的ホール
賛助会員割引等**



大ホール



多目的ホール



研修室1



研修室2



会議室



商談室2



商談室3



商談室4

◆ 基本使用料金

消費税込 (単位：円)

	面積 (㎡)	収容人員 (人)	全日 9:00～17:00	午前 9:00～12:00	午後 13:00～17:00	夜間 18:00～21:00	超過料金 1時間につき
			平日	平日	平日	平日	
大ホール	3,000	5,000	231,550	110,990	147,730	162,360	15,400
			土日休	144,540	192,720	212,630	20,130
多目的ホール	256	132	36,630	17,490	23,320	25,630	8,580
会議室	48	20	7,040	3,300	4,620	5,060	1,650
商談室(No.1～4)	24	12	3,520	1,650	2,310	2,530	880
研修室1	128	108	18,480	8,800	11,770	12,980	4,290
研修室2	80	45	11,660	5,500	7,370	8,140	2,640

※大ホール：別途清掃料、ゴミ収集料がかかります。※商談室：貸し出しを停止している部屋、時間帯があります。(冷暖房使用料は別途)

◆ 多目的ホール、会議室、商談室、研修室の基本使用料の割引

割引	適用条件	割引率
賛助会員割引	当財団の賛助会員が使用する場合	20%
併用割引	大ホールと併せて使用する場合	10%

※各割引は併用することができます。

◆ 大ホール基本使用料の割引

割引	適用条件	割引率
搬入出等割引	専ら準備、搬入、撤去などに使用する場合	20%
新規割引	新規に使用する場合	10%
準新規割引	2回目に使用する場合	5%
単年度複数割引	単年度に複数回使用する場合(2回目以降)	10%
半面割引	半面のみを使用する場合	10%
県内企業応援割引	高知県内に本支店を置く企業等が使用する場合	5%

※各割引は併用することができます。ただし、半面割引は、新規割引及び準新規割引とは併用できません。

NEW!

◆ 電子会議システム 無料貸出中!

※キャスター付き

・研修室1、
研修室2のみ

・賛助会員以外も
利用可能



【お問い合わせ・お見積り・ご予約】 (株) 四国環境管理センター ちばさん事業部(担当:中屋)

TEL:088-846-0311 FAX:088-803-8510 E-mail:diba-yonkan@cup.ocn.ne.jp

◆ 詳しくは、「高知ちばさんセンター」HPをご覧ください。 <https://diba3.com/>



賛助会員 & 広告募集

当センターでは、賛助会員の皆さまに様々なサービスを企画し、役立つ情報を提供しています。

ぜひご利用いただき、経営の向上にお役立てください。

年会費は1口1万円で企業・団体・個人等どなたでもご入会いただけます。

また有料広告の掲載についても随時募集しております。



賛助会員の皆さまにご利用いただける主なサービス

企業情報検索

お取引先の企業情報の検索サービスを行っています。賛助会員以外の方には1件につき2,000円の実費をご負担いただきますが、会員の方は年会費1口につき5件まで無料でご利用いただけます。

※東京商工リサーチまたは(公財)高知県産業振興センターは、企業情報の使用により、いかなる損害が生じたとしても対価の減額、損害賠償、その他一切の責任は負いません。

DVDの貸出

生産、品質管理、社員教育やビジネススキルなどの課題解決に役立つDVD教材などを無料でご利用いただけます。

現在、産業振興センターで購入を検討中のDVD一覧を載せていますので、こちらのQRコードからぜひチェックしてみてください。いただいた情報を参考に購入を検討します。

購入検討中のDVD一覧



https://joho-kochi.or.jp/center/dvd_request.php

「情報プラットフォーム」有料広告欄の費用を割引

県内企業や関係機関など多くの読者にPRしてみませんか?

〈通常〉裏表紙A4 1頁(県内・原版あり)¥40,000

⇒《賛助会員》なら **¥20,000**

月刊情報誌

「情報プラットフォーム」の無料配布

毎月1回1500部発行。

県内外の賛助会員、金融機関、商工団体等へ配布しています。

IT 110番

パソコンやネットワークに精通した専門家が会員企業の情報化を無料でサポートしています。

施設利用料金の割引

高知ちばさんセンター(大ホール除く)の会議室等のご利用料金について割引制度をご利用いただけます

お問い合わせ

(公財)高知県産業振興センター 賛助会員担当

TEL 088-845-6600 FAX 088-846-2556